

# 實性寺 表千家茶道の12月稽古

残月亭写し「聴松軒」での稽古

聴

松

軒



## 12月の稽古

〈5回に分けて〉

- 一、盆香合
- 一、茶釜飾・仕組点・組合せ・台飾り
- 一、唐物 真・行・草
- 一、後炭

## 道具組

- |      |                |
|------|----------------|
| 〔掛物〕 | 〔無事〕           |
| 〔花入〕 | うづくまる 席主作      |
| 花    | 輪無し二重切         |
| 〔釜〕  | 〔西王母〕〔初嵐〕〔妙蓮寺〕 |
| 炉縁   | 〔大神楽〕〔佗助〕      |
| 五徳   | 阿弥陀堂           |
| 〔水指〕 | 〔鱗鶴〕 席主絵       |
| 〔棚〕  | 中爪             |
| 〔香合〕 | 吉向焼 四方ぶどう紋様    |
| 炭斗   | 丸卓 惺斎好         |
| 羽根   | 伊賀「宗古録」        |
| 火箸   | 油竹             |
| 灰器   | 犬鷲             |
| 灰匙   | 少庵型            |
| 鑑    | 備前             |
| 釜敷   | 少庵型            |
|      | 石目             |
|      | 藤組             |



掛物「無事」



花入 輪無し二重切



釜 阿弥陀堂



水指 吉向焼



香合 伊賀「宗古録」

## 稽古の内容

- ◆ 盆香合 盆の上の香合に手を添えるタイミング
- ◆ 薄茶 四滴(水滴)の扱い  
口の向き、飾り、置き合わせ、茶を入れる時  
(蓋の開け閉め)、拝見の時
- ◆ 唐物 真・行・草の違い  
緒の扱い
- ◆ 長緒 共蓋水指と塗蓋との違い  
一度で全ての道具を運び込む
- ◆ 茶釜飾 建水より格下の道具は無し
- ◆ 仕組 貴人台の意とすること
- ◆ 組合せ 「台天目」との違い・客の茶の飲み様
- ◆ 台飾り 縁高の扱い
- ◆ 縁高 香合の仕組方
- ◆ 後炭 香の焚き様  
水を足す時  
棚に蓋置がある時

〔茶入〕 大海・文琳

仕服 富貴長命・利休梅間道

〔茶器〕 真塗雪吹 席主乱菊絵

〃 黄瀬戸水滴

〔茶碗〕 志野 桧垣絞不東庵

〃 替 京焼 波の絵

〔茶杓〕 万古 宗心宗匠画讃

〃 建水 寛道老師「雁」 大道老師

蓋置 唐銅 エフゴ

〔菓子器〕 竹引切り・オランダ写

〃 縁高

干菓子器 丸 千鳥絵

菓子 トラや「深山の雪」「洛陽のみち」「霜の葉」「柚形」

〃 「大徳寺・紅」「月夜の水面」

干菓子 「一休寺・紅葉」「知恩葵」

〃 「古の実」

苩盆 惺斎好 竹手付・松スリ漆

火入 徳泉 染付

苩入 タイ産

濃茶 「楽寿の昔」 柳桜園

薄茶 「珠の白」 柳桜園



替 万古



菓子器 縁高



替 京焼



茶碗 志野



茶器 真塗雪吹

